

Research Clip  
2015年11月

RepRisk 世界で最も物議を醸した企業を発表

社会システム研究所  
アナリスト  
曾我 昂平

リサーチ・クリップでは、最近関心の高まっている環境問題、企業の従業員・地域社会といった様々な社会との関わりなどに関する記事や、国内および海外における公募投信（以下、ファンド）の最新情報を紹介します。

■企業の ESG（環境・社会・ガバナンス）リスク情報提供機関の大手である RepRisk は、世界で最も物議を醸した企業についてまとめたレポート「The Most Controversial Companies of 2014」を発表した。同レポートは、不祥事の当事者企業に対して誠実な対応を促すとともに、その他の企業が ESG リスクに対して認識を深めることを目的として発表している。本文中では、RepRisk が全世界の企業について算出している RRI（Reputational Risk Index：レピュテーションに関するリスク指標）のピークが高かった 9 企業と 1 団体が紹介されている。RRI は 14 言語のマスコミ報道、NGO ウェブサイトなどの情報を基に、環境・社会・ガバナンスそれぞれの観点でリスクを評価して合算し、全世界の 49,000 社について、0 から 100 の間で数値化している。企業所在地別にみると、日本を含むアジアから 6 社、米国から 3 社、欧州から 1 団体が選ばれた。1 団体はスイスに本部を置く FIFA（国際サッカー連盟）で、汚職疑惑やワールドカップ会場における労働安全問題が指摘されている。以下では、同レポートで取り上げられている 10 の企業・団体（図表 1）のうち上位 5 企業について紹介する。

図表 1 世界で物議を醸した企業ランキング

順位	企業名	ピーク RRI	所在地	事業概要	不祥事概要
1	清海鎮海運	93	韓国	海上輸送	セウォル号事故
2	タカタ	86	日本	エアバッグサプライヤー	エアバッグ死亡事故・大量リコール
3	強冠企業	85	台湾	食用油製造	汚染食用ラード出荷
4	中栄金属製品	83	中国	自動車ホイールサプライヤー	自動車事故
5	ウーバー・テクノロジーズ	80	米国	タクシー配車アプリ	ビジネスの法令違反訴訟
6	FIFA	78	スイス	サッカー大会運営など	汚職・労働安全問題
7	東莞新洋電子	77	中国	携帯端末部品サプライヤー	児童労働問題
8	GM	75	米国	自動車メーカー	自動車事故
9	KT ENS	74	韓国	情報通信KT系列会社	違法詐欺融資
10	ニーマン・マーカス・グループ	73	米国	デパート運営	個人情報流出、サプライチェーンでの児童労働

(出所)RepRisk「The Most Controversial Companies of 2014」より当社作成

(1) 清海鎮海運（ピーク RRI：93、韓国）

清海鎮海運の RRI は主にガバナンスリスクとなっている。同社のランキング入りの理由となったセウォル号事故は法令違反による過積載が原因とされた。

2014年4月、同社が保有する大型旅客船セウォル号が韓国近海で沈没する事故があった。乗船していた476人中死者は300人以上にのぼり、近年最悪の海難事故の1つとなった。捜査から、法定以上の過積載により船体が不安定となったことが原因で船体が横倒しとなり、沈没に至ったことと、同船以外にも保有する他の客船において恒常的に過積載が行われていたことが明らかになった。

事故の後、船長をはじめとする乗組員は乗客に避難指示を与えずに脱出した容疑などで逮捕され、同社の元会長兪（ユ）氏とその家族が脱税や違法な為替取引に関する容疑で捜査された。その後、兪氏は7月に死亡した状態で発見された。その間、同社は5月に破産申請を行っている。

11月には、船長が過失による有罪で懲役36年となるなど、乗組員13人が処罰を受けることとなった。同社代表は過積載を促したことから、会社資産の横領によって懲役10年となった。

## (2) タカタ（ピーク RRI : 86、日本）

タカタの RRI もまた、主にガバナンスリスクとなっている。同社は安全性に欠陥のある自動車用エアバッグの製造とそれに伴う数百万台規模のリコールがランキング入りする理由となった。エアバッグ作動の際の異常破裂による事故が2004年に起きた際、同社は問題を認識しながら2008年まで公開しなかったとされる。同社のエアバッグシェアは世界2位であり、顧客には世界の主要自動車メーカーが多く含まれる。

問題は以前から知られていたが、今回対象範囲が拡大したことから注目されることとなった。まず、2014年6月、トヨタ自動車は、タカタ製エアバッグによる潜在的な安全上のリスクへの対応として、約230万台を対象とする世界的なリコールを実施した<sup>1</sup>。その後数日で本田技研工業、マツダ、日産も合計約300万台のリコールを発表した。6月末までにトヨタ自動車、BMW、フィアット、クライスラー、フォードなどが更に数百万台規模のリコールを発表した。12月には、問題対応のため意思決定のスピードを早めることを理由として、同社社長が辞任している。

## (3) 強冠企業（ピーク RRI : 85、台湾）

強冠企業の RRI も、ガバナンスリスクによる評価が主な理由となって、ランキング入りしている。ランキング入りの理由となった汚染食用ラード出荷により、同社の董事長葉氏は詐欺と食品安全衛生管理法違反で逮捕され、資産を凍結された。

2014年9月、同社は食品に使うことが禁止されている飲食店からのリサイクルや家畜の内臓や皮革からの抽出により入手した粗悪油を食用ラードに混ぜて販売していたことが発覚し、摘発された。違法ラードは、900以上の飲食店・食品工場に供給されていたことが明らかになった。違法ラードを使った食品は台湾国内だけでなく、香港のセブン・イレブン、スターバックス、カフェ・エクスペリエンスなどの大手チェーンでも提供されていた。

9月の間に台湾、香港、マカオの小売業者は、違法ラードが混入した可能性のある食品数百トン棚から撤去した。問題の中心である台湾では、政治問題に発展し、馬総統は対策のためのタスクフォース

<sup>1</sup> 前年にも同じエアバッグの欠陥を理由としてリコールを行っており、今回は対象リスト漏れによる追加のリコールとなる。

を立ち上げた。

#### (4) 中栄金属製品（ピーク RRI : 83、中国）

中栄金属製品の RRI は社会リスクが殆どを占めている。同社のランキング入りする理由となったアルミニウムによる粉塵爆発は、ここまで紹介した 3 社と異なり、経営陣による意図的な法令違反は主な理由となっていない。

2014 年 8 月に同社の中国東部にある工場で粉塵爆発事故が起こり、最終的に 146 人が死亡した。事故原因は、製品製造の際に発生した可燃性アルミ粒子の蓄積と考えられている。同社は GM、フォルクスワーゲン、三菱自動車の自動車に用いられるホイール部品を製造している。

同社では 2 カ月前に別の粉塵爆発事故が起きたばかりで、地方安全労働局は同社に対し、繰り返し粉塵爆発の危険性について警告していたという。また、工場では 1 日 12 時間以上の長時間労働が恒常化しており、従業員を労働災害保険に加入させていなかったことなども明らかになっている。

上記の事実により、NGO であるチャイナ・レイバー・ウォッチなどは、同社を 2 次サプライヤーとしていた GM が監督責任を果たしていなかったとして批判した。8 月中には事故に関連して同社会長を含む幹部 3 人が逮捕され、12 月末までに工場のある昆山市当局者 15 人も起訴された。

#### (5) ウーバー・テクノロジーズ（ピーク RRI : 80、米国）

ウーバー・テクノロジーズもまた、主に社会リスクによってランキング入りした。同社のビジネスモデルは、一部の国で高いタクシー料金の原因となっている高額な営業権を取得することなく、既存のタクシーと競合するものであり、各国で社会的に物議を醸している。

同社は、スマートフォン・アプリケーションを通じて、登録したドライバーによるタクシー・ハイヤーを顧客に配車するサービスを各国で提供している。2014 年 12 月に米国やインドにおいてタクシードライバーによる女性乗客への暴行事件などが複数発生したことをきっかけにランキング入りした。

暴行事件の背景として、既存の配車サービスと異なり、派遣されるドライバーは同社に所属しておらず、身元の確認が不十分であることが指摘されている。加えて、同社のアプリケーションに登録するドライバーは、サービスを提供する各国で同様の事業を行うのに必要な免許取得などの要件を満たしていないことがあり、国によっては違法であるとして訴訟の対象となることもある。ベルリンやロンドン、マドリッドの既存のタクシードライバーは、ランキング入りの理由となった暴行事件発生以前の 7 月に、同社のサービスに反対するデモを行った。12 月にスペインとタイは同社のサービスを禁止した。

ここに挙げた各企業の詳細、ランキング入りした他の企業については、当該 URL ([http://www.reprisk.com/marketing/wp-content/uploads/2015/02/MCC-2014-report\\_FINAL2.pdf](http://www.reprisk.com/marketing/wp-content/uploads/2015/02/MCC-2014-report_FINAL2.pdf)) より取得できる。(END)